

参考資料

1 あいちスポーツイノベーションプロジェクトについて

(1) 目的

STATION Aiオープン、愛知国際アリーナ開業、アジア・アジアパラ競技大会を始めとする国際スポーツ大会の開催などを起爆剤として、産学官等の連携により、スポーツ分野のイノベーションを推進し、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化及びスポーツを通じた地域活性化を図る。

(2) コンソーシアム

プロジェクトの推進母体として、2024年6月11日にコンソーシアムを設立。

名称	あいちスポーツイノベーションコンソーシアムAiSIA
参画団体	大学、スポーツチーム、企業、スポーツ関連団体等 (116団体：2026年2月末現在)
体制	会 長：愛知県知事 副会長：株式会社中日新聞社取締役メディアビジネス担当 名古屋商工会議所常務理事・事務局長 公益財団法人愛知県スポーツ協会理事長
事務局	愛知県（代表事務局）、株式会社中日新聞社

(3) コンソーシアムの取組の3つの柱



【柱①】
スポーツ産業をささえる
人材の育成

マネジメント人材の育成、
スポーツ産業の高度化を
担う人材の育成 など



【柱②】
アスリート・スポーツチーム
の価値向上

スポーツ事業の
高付加価値化、
スポーツのブランド化 など



【柱③】
スポーツと他産業の融合

オープンイノベーションを
通じた他産業の
高付加価値化、
スポーツを通じた
地域課題の解決 など

2 AiSIAの取組について

(1) AiSIA アクセラレーションプログラム

2024年度に採択した2件について継続支援を実施するとともに、2025年度は新たに名城エリア・瑞穂公園を起点にした実証実験を支援

① 2024 年度からの継続支援

スポーツチーム共通の課題である「集客力向上」に向け、新しい事業・サービスの創出のための実証実験を、複数のスポーツチームの関与のもと、試合会場等で実施。

採択企業	KUROFUNE 株式会社
プロジェクト名	在住外国人ファンも応援する地元スポーツチームの実現
プロジェクト概要	在住外国人向けチケットサービスアプリを開発し、新たなファン層の獲得を図ると共に生きがいを創出。
2025 年度 協力チーム	ウルフドッグス名古屋、ジェイテクト STINGS 愛知、 名古屋グランパス、ファイティングイーグルス名古屋

採択企業	株式会社はこぶん
プロジェクト名	初観戦者のホンネの声分析を通じたサイレントファン発掘・リピート促進
プロジェクト概要	来場者のホンネの声をチーム横断で蓄積・分析するプラットフォームを開発し、チーム側にはベストプラクティスを共有するとともに、利用者には協力チームの試合観戦情報等を配信。
2025 年度 協力チーム	ウルフドッグス名古屋、クインシーズ刈谷、三遠ネオフェニックス、 ジェイテクト STINGS 愛知、シーホース三河、名古屋オーシャンズ、 名古屋グランパス、ファイティングイーグルス名古屋、 ブレイヴキングス刈谷

② 2025 年度新規募集分

<名城エリア> (募集期間：2025 年 9 月 18 日～10 月 14 日)

連携パートナー	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ IG アリーナ (運営会社：株式会社愛知国際アリーナ) 名古屋市 (フィールド提供パートナー)
募集テーマ	名城エリアをバスケ“城下町”に
採択企業	株式会社 R-pro
プロジェクト名	Smile Economy PROJECT
プロジェクト概要	笑顔 1 回を 1 円の寄付に変えるシステム「スマイラル」を使用し、 ウェルビーイングの促進とその循環を作る。

<瑞穂公園> (募集期間：2025 年 8 月 20 日～9 月 12 日)

連携パートナー	名古屋グランパス 株式会社瑞穂 L O O P - P F I (瑞穂公園指定管理者、フィールド提供パートナー)	
募集テーマ	スポーツがつなぐサステナブルなまち	
採択企業	株式会社 JOYCLE	株式会社ピリカ
プロジェクト名	ファン・市民を巻き込んだスタジアム内資源循環モデルの実現	Re:Park -ごみを資源に、公園に還る
プロジェクト概要	試合会場で出る可燃ゴミを回収してテーブルや土壌改良剤にアップサイクル。	試合会場やクラブ施設で出るプラスチックゴミを回収して公園のベンチにアップサイクル。

連携パートナー	トヨタヴェルブリッツ 株式会社瑞穂LOOP-PFI (瑞穂公園指定管理者、フィールド提供パートナー)	
募集テーマ	ヴェルブリッツ瑞穂ラグビータウン化	
採択企業	株式会社 ^{インゲン} INGEN	フロム・シェフ株式会社
プロジェクト名	愛知県野菜を「食卓のわき役」から「体を支えるヒーロー」に変えよう	健康経営で新たなタッチポイントの共創
プロジェクト概要	パートナー企業向けメニューとして、野菜の収穫体験や食育に関するメニューを開発。	パートナー企業向けメニューとして、健康経営をサポートするメニューを開発。

※瑞穂公園を起点にした実証実験については、一次採択した4社による中間発表・審査を行い、最終的に株式会社JOYCLEと株式会社ピリカが実施者に決定。

(2) その他の取組

① あいちスポーツ未来共創ラボ

- ・ 主に社会人を対象にスポーツビジネスに関する連続講座を開催（27名参加）。
- ・ 開催期間は、2025年9月24日（水）から2026年2月25日（水）までの全7回。
- ・ 講座では、スポーツビジネスの第一線で活躍する講師陣によるセミナーやワークショップを実施。
- ・ 最終回では、受講生によるスポーツビジネスプランの成果発表会を実施。発表内容の一部については、2025年度AiSIA成果報告会の会場において紹介予定。

② スポーツと他産業の共創による地域課題解決モデル事業

- ・ 健康維持や将来的な介護予防を目的として、2024年度に県内5か所で「介護予防・運動習慣の定着を目指すオーシャンズウェルネスプログラム」を実施（採択企業：株式会社ザスマールシングス）。
- ・ スポーツチームの持つ「カッコイイ」「楽しい」といったポジティブなイメージを活用し、年齢や性別を問わずに誰でも参加しやすい場をつくった。
- ・ 2025年度は、自治体へ実施を働きかけた。